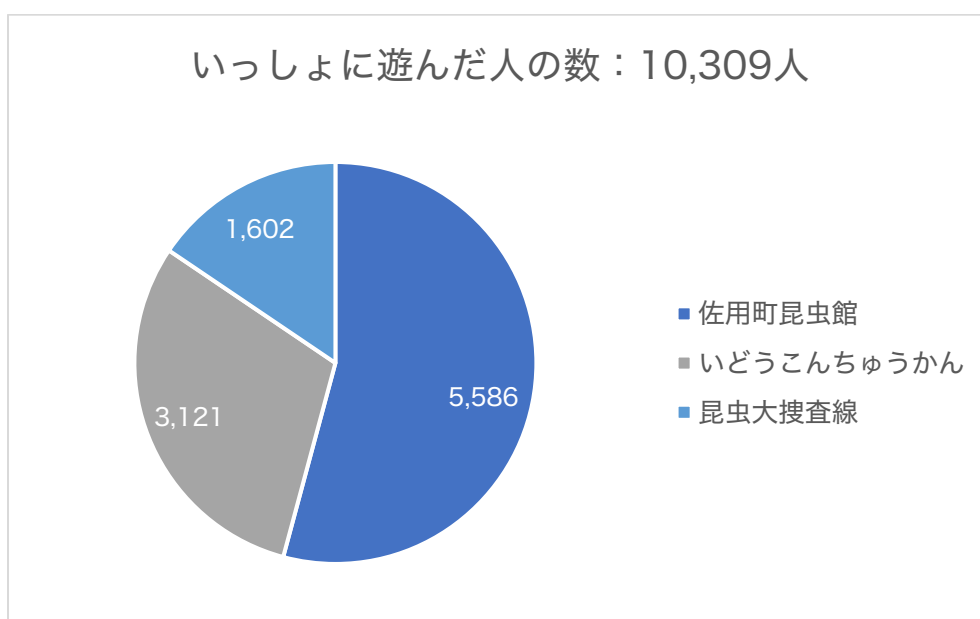


NPO 法人こどもとむしの会 令和 6 年度（2024 年度）事業報告書



前年（2023 年度）は 11,010 人でした。スタッフ数を含む（スタッフのみの作業は含まない）。

A 子どもと虫に関連する普及啓発事業

昆虫館や博物館に出かけるチャンスのない子どもたちのもとに「ほんものたいけん」を届ける「いどうこんちゅうかん」や公園等で虫とりを楽しむ「昆虫大捜査線」など、多くの事業を引き続き実施した。

A-1 いどうこんちゅうかん

虫に触れる体験をねらいとし、主に室内で実施するプログラム。対象は、昆虫大捜査線より低年齢児を想定。

実施日	イベント名	会場	参加者数	スタッフ数
5月14日 (Tue)	しぜんたいけん (幼稚園・保育園)	佐用保育園・上月保育園	61・23	5・4
5月15日 (Wed)	しぜんたいけん (幼稚園・保育園)	南光保育園・利神保育園	29・11	4・4
5月16日 (Thu)	しぜんたいけん (幼稚園・保育園)	佐用マリア幼稚園・三日月保育園	15・18	6・6
6月2日 (Sun)	いどうこんちゅうかん	さよう文化情報センター※	169	16
7月14日 (Sun)・ 15日 (Mon)	いどうこんちゅうかん	播磨中央公園	242	31
7月20日 (Sat)	虫とあそぼう (南光ひまわり祭り)	南光スポーツ公園	300	4
7月21日 (Sun)	いどうこんちゅうかん	ルネサンス棚倉	28	3
7月27日 (Sat)・ 28日 (Sun)	いどうこんちゅうかん	志方児童館	335	23
8月2日 (Fri)	むしのおえかき	神戸市立神出児童館	25	3
8月11日 (Sun)	いどうこんちゅうかん	但馬牧場公園	147	6
8月12日 (Mon)	いどうこんちゅうかん	八田コミュニティセンター	143	5
8月16日 (Fri)	いどうこんちゅうかん	洲本中央公民館	405	27
9月16日 (Mon)	いどうこんちゅうかん	岩手県立児童館いわて子どもの森	366	3
9月19日 (Thu)	いどうこんちゅうかん	山本南保育園	93	6
9月22日 (Sun)・ 23日 (Mon)	いどうこんちゅうかん	丹波並木道中央公園	120	8
10月14日 (Mon)	いどうこんちゅうかん	兵庫県立こどもの館	107	10
12月4日 (Wed)	いどうこんちゅうかん・ライト	高砂市立曾根こども園	168	3
		合計	2,933	188
		(2023 年度)	3,073	193

※ C-1 佐用町昆虫館の管理運営の項で詳述。

A-2 昆虫大捜査線等

野外で自ら虫をつかまえる体験をねらいとしたプログラム。

実施日	イベント名	会場	参加者数	スタッフ数
5月3日 (Fri)	昆虫大捜査線	丹波の森公苑	229	5
5月11日 (Sat)	むしとり合宿	但馬牧場公園	22	5
6月1日 (Sat)	むしとり夏の陣 in 栗ノ木谷公園	栗ノ木谷公園 (テクノ)	87	5

6月8日 (Sat)	昆虫大捜査線	ハチ高原交流促進センター	56	7
6月22日 (Sat) 7月30日 (Tue)	石の寝屋緑地昆虫調査隊	あわじ石の寝屋緑地	26・31	4・5
7月6日 (Sat)	昼と夜のホタル観察会	佐用町昆虫館	43	8
7月20日 (Sat)	昆虫大捜査線	ルネサンス棚倉	22	3
8月10日 (Sat)	昆虫大捜査線	但馬牧場公園	46	5
9月15日 (Sun)	昆虫大捜査線	岩手県立児童館いわて子どもの森	157	5
9月16日 (Mon)	昆虫大捜査線	青森県立三沢航空科学館	160	2
10月5日 (Sat)	みんなで虫とり！～ビンゴで昆虫博士～	スピカホール	18	5
10月6日 (Sun)	昆虫大捜査線	播磨中央公園	220	9
10月12日 (Sat)	昆虫大捜査線	三熊山	200	8
10月15日 (Tue)	秋の水生生物観察会	ルネサンス棚倉	28	3
1月5日 (Sun)	むし初め 2025	明石公園	165	15
2月15日 (Sat)	ふゆムシ	あいな里山公園	45	4
		合計	1555	98
		(2023 年度)	1711	135



左：いどうこんちゅうかん（但馬牧場公園） 右：いどうこんちゅうかん（丹波並木道中央公園）



左：昆虫大捜査線（ハチ高原） 右：ふゆムシ（あいな里山公園）

A-3 研修プログラム

スタッフや調査員の育成につながることをねらいとしたプログラム。

実施日	イベント名・	会場	参加者数	スタッフ数
5月6日（Mon）6月9日（Sun） 7月24日（Wed）8月6日（Tue） 8月19日（Mon）-20日（火） 9月29日（Sun）11月10日（Sun） 12月8日（Sun）	昆虫学園中等部	昆虫館等	124	27
8月6日（Tue）-8日（Thu）	ユース昆虫研究室 Advanced （昆虫館分）	昆虫館	10	6
5月18日（Sat）	スタッフ研修会（柵補修）	ハチ高原	-	9
1月25日（Sat）	スタッフ研修会	井嶋農園	5	3
		合計	139	45
		（2023 年度）	96	25



右：スタッフ研修会（井嶋農園）

B 地域の自然環境とまちづくりに関連する調査研究事業

B-1 雑誌「きべりはむし」の編集発行

2024 年度に発行した雑誌『きべりはむし』はつぎのとおり。

きべりはむし 第47巻 第1号

- ・2024 年 6 月 25 日発行
- ・頁数 74、報文 9 編、短報 10 編、書評 2 編。

きべりはむし 第47巻 第2号

- ・2024 年 12 月 25 日発行
- ・頁数 82、報文 15 編、短報 13 編、書評 4 編。

編集委員

編集委員長 池田 大

編集委員 阪上洸多・末宗安之・中峰 空・森 正人・安岡拓郎

B-2 参加型調査

参加型調査「むしみつけ」（みんなも、昆虫調査員！ このむし、みつけたら、おしえてね）を、対象種を絞って引き続き実施した。

立春から昆虫館開館日の間の虫の初見を記録する「初蝶リレー」も、引き続き実施した。

B-3 チョウ類の保全活動

ニホンジカの食害による植生破壊の影響で減少しているチョウ類の生息地を復元・創出するとともに、子どもたちが安全かつ自由に虫とりのできる空間を確保するため、「シカ柵」の設置や維持管理を行った。

佐用町昆虫館

2023 年冬季に昆虫館付近の町有地「むしむしひろば」に設置したシカ柵のメンテナンスを行った。C-1 佐用町昆虫館管理運営の項で詳述

ハチ高原

「兵庫ウスイロヒョウモンモドキを守る会」がハチ高原高丸山に設置しているシカ柵の維持管理に資するため、「昆虫大捜査線」を同会と共催で開催し、関心者の確保を開始する。また、同会が行う域外保全（生息地以外での累代飼育）に関し、佐用町昆虫館が協力する。

シカ柵補修作業へは、5 月 18 日（日）に 9 名が参加した。



ハチ高原でのシカ柵補修作業（5 月）

C 昆虫館等の運営支援事業

C-1 佐用町昆虫館の管理運営

引き続き、指定管理者として、佐用町昆虫館の管理運営を行った。2024 年度（2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日）の状況は以下のとおりであった。

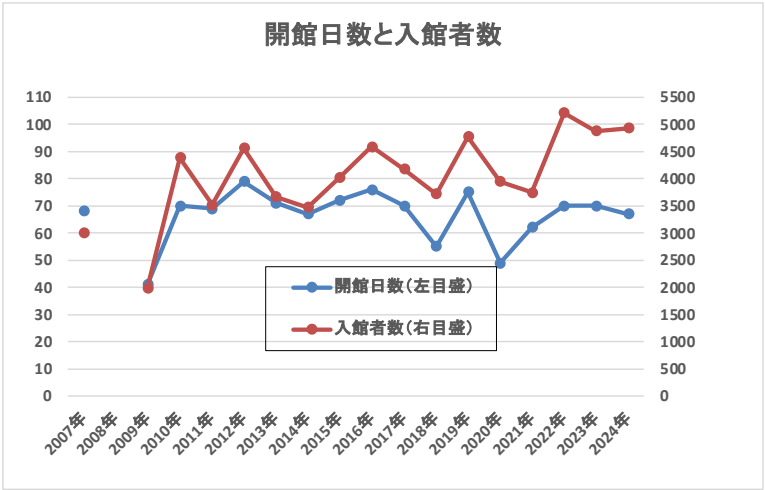
入館者の状況

引き続き利用時間を 2 時間ごとの 3 部に分けて定員を 40 名とし、事前予約推奨とした。予約システムは、リクルート社の「Air リザーブ」を用いた。台風による臨時休館が 1 日あり、開館日数は 67 日、開館時の入館者数は 4,933 人であった。前年の 4,875 人から漸増となり、開館日の平均入館者は 73.6 人で、前年の 69.6 人から増えた。

昆虫館での講座が増え、佐用町内へ出かけてプログラムを実施するアウトリーチの件数も増えたことから、総利用者数は 5,758 人で、これは過去最多となった。

佐用町昆虫館 2024 年度の利用者数（昆虫館の事業年度にならない 4 月からの集計）

月	開館日		休館時利用			講座等		アウトリーチ		計		総計			
	日数	人数	日数	人数		件数	人数	件数	人数						
		来館者	スタッフ		来館者	スタッフ		参加者	スタッフ		参加者	スタッフ	一般	スタッフ	
4	9	481	41				4	21	4				502	45	547
5	10	665	34				1	5	1	6	157	29	827	64	891
6	10	604	38				2	25	7	1	169	16	798	61	859
7	9	946	36				2	61	11	1	300	4	1307	51	1358
8	9	1106	42				2	23	10				1129	52	1181
9	11	782	35				2	19	5				801	40	841
10	9	349	36				1	1	1	1	18	5	368	42	410
11				1	6	0	1	20	4				26	4	30
12													0	0	0
1													0	0	0
2													0	0	0
3													0	0	0
総計	67	4933	262	1	6	0	15	175	43	9	644	54	5758	359	6117

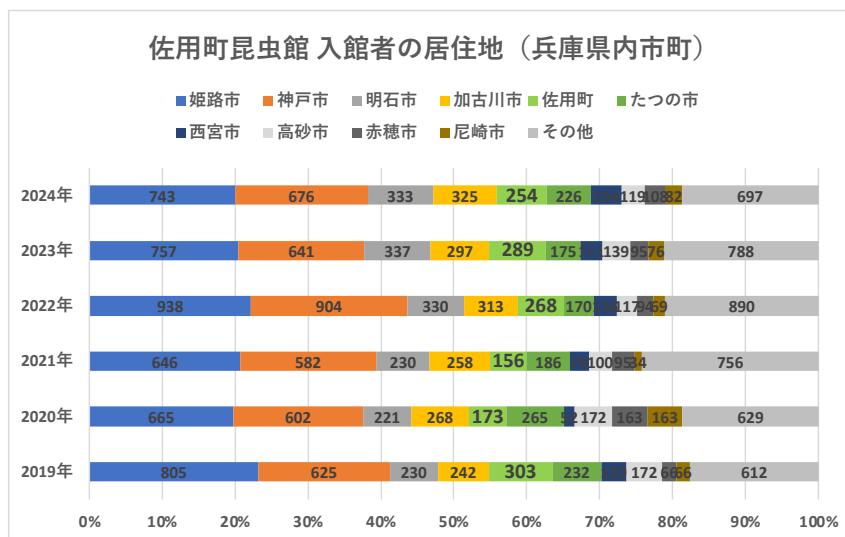
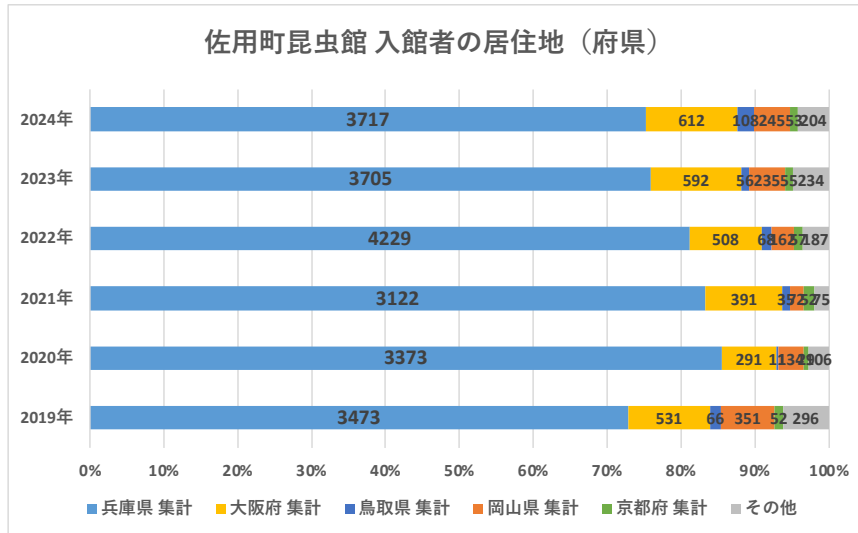


佐用町昆虫館の開館日数と開館日の入館者数の推移

2007 年（平成 19 年）は、旧兵庫県昆虫館での 4～10 月、土・日・祝日の数値。入館者数は、2020 年 7 月 19 日（日）までは旧兵庫県昆虫館以来の館入口における任意記帳者の人数。予約制を導入した 2020 年 7 月 23 日（木・祝）からは入館者の実数。

佐用町住民の利用

利用者のうち兵庫県在住者の割合は 75.3%で、前年の 76.0%とほぼ同じであった。佐用町民の利用者は 254 人（6.8%、第 5 位）で、前年の 289 人（7.8%、第 5 位）からやや低下した。



佐用町昆虫館利用者の居住地

講座等

主催事業、共催事業、受託事業をそれぞれ1件ずつ新たに実施した。

入門！昆虫標本づくり

小学3年生以上を対象とし、定員2名、参加費1,000円で、比較的用户数が少ない春と秋に不定期開催することとし、ホームページとメールマガジンによる告知で募集を行った。予約制で、1回1.5時間で1日に最大3枠設け、9日間で38人が受講した。

月	日数	受講者数
4月	4	21
5月	1	5
6月	2	7



9月	1	4
10月	1	1
合計	9	38

佐用町昆虫館 昆虫学園 中等部（主催：県立人と自然の博物館 共催：昆虫館）

中学生限定のセミナー。受講生は 21 名。7 回セットのうち初回と最終回は人と自然の博物館で開催し、6 月 9 日、7 月 24 日、8 月 19-20 日、9 月 29 日、11 月 10 日の 5 回を昆虫館で開催した。これらの回の参加者数は延べ 84 名であった。



昼と夜のホタル観察会（主催：西播磨青少年本部）

受託事業として実施した。

7 月 6 日（土）17:30 から 20:30 に実施し、参加者 43 名であった。



アウトリーチ

引き続き、町内全幼稚園・保育園への訪問、南光ひまわり祭りへの出展、「いどうこんちゅうかん」を実施し、新たに佐用町生涯学習課主催事業の講師を担った。

幼稚園・保育園への訪問

県立人と自然の博物館が行う「ひょうごエコロコプロジェクト」との協働により、下表により 5 月に町内すべての幼稚園保育園（6 園）を訪問し、虫に親しむ「しぜんたいけん」プログラムを実施した。

人と自然の博物館が行う「ひょうごエコロコプロジェクト」との協働により、下表により 5 月に町内すべての幼稚園保育園（6 園）を訪問し、虫に親しむ「しぜんたいけん」プログラムを実施した。

訪問日	園名	園児数	スタッフ数
5月14日午前	佐用保育園	61	5
5月14日午後	上月保育園	23	4
5月15日午前	利神保育園	11	4
5月15日午後	南光保育園	29	4
5月16日午前	マリア幼稚園	15	6
5月16日午後	三日月保育園	18	5



左：南光保育園、右：三日月保育園

いどうこんちゅうかん（さよう文化情報センター）

6月2日（日）、さよう文化情報センターにて、開催した。対象は、町内在住の子どもとし、町内全小学校、幼稚園・保育園にチラシを配布した。1時間ごとに3回の枠を設けて予約制で実施し、参加者は子ども90名、大人79名、合計169名であった。2023年（南光文化センター開催）とほぼ同数であった。2023年に続き「スタッフたいけん」として、小学4年生以上を募集したところ、3名（上月中1年・上月小5年2名）がエントリーし、スタッフとして活躍した。



いどうこんちゅうかんのチラシ（A5判）

いどうこんちゅうかん 参加者の年齢層

	年齢層	2022 年	2023 年	2024 年
子ども	小学生	62	50	45
	幼児	50	32	43
	未就園	2	10	2
	不明	5	0	
	合計	119	92	90
大人	合計	75	73	79
総計		194	165	169



いどうこんちゅうかん 会場のようす (2024 年 6 月 2 日 さよう文化情報センター)

虫とあそぼう (「南光ひまわり祭り」への出展)

「南光ひまわり祭り」期間中の 7 月 20 日 (土) 午前 9 時から 14 時まで、南光スポーツ公園の屋外ブースへ「虫とあそぼう」と題して出展した。内容は、カブトムシ、クワガタムシ、タガメ等、昆虫館で展示している生物で、アトラクションとして以前から人気の「イモリすくい」を実施した。

ひまわり祭り会場全体の入場者は約 3,200 人 (主催者発表)、利用統計へは「イモリすくい」体験者 300 人を計上した。



南光ひまわり祭り 会場のようす (2024 年 7 月 20 日 南光スポーツ公園)

みんなで虫とり！ビンゴで昆虫博士（佐用町スピカホール 主催：佐用町生涯学習課）

佐用町生涯学習課の事業「さよう子ども体験くらぶ」の一つとして、10月5日（土）に実施した。参加者 18 名。



みんなで虫とり！ビンゴで昆虫博士のようす（2024 年 10 月 5 日 佐用町スピカホール）

「はっぴーがーでん」の環境整備

昆虫館では、瑠璃寺仁王門東側の町有地周辺を「むしむしひろば」と称し、来館者の虫とり体験の場として推奨しているが、近年のシカの増加と、それに伴う植生の衰退による昆虫の減少、マダニやヤマビルが増加により、フィールドワークの場としての魅力が減じている。そこで、2023 年 2 月からその一部にシカ柵を設置し、多様な昆虫が生息し子どもたちが安全に虫とりを楽しめる空間として整備することとした。2023 年度は柵を延長し、面積は約 1000 平米、シカ柵の延長約 140m となった。また、ユンボを用いて柵内のササの根の除去や排水路の整備等を行い、名称を「はっぴーがーでん」とした。

2024 年度は柵内の植栽の追加と池の拡張および入口の整地を行った。これについては、大きな改変ではないこと、自治会長やシカ捕獲檻設置者とは日常的に意思疎通を行っていることから、とくに地元自治会との協議は行なっていない。

植栽の追加は、昆虫の餌や蜜源となる樹木 6 種や草本約 10 種を新たに植えた他、会員から提供された兵庫県内で採集された日本在来種の草本 7 種の種子を播種した。

池の拡張は、2023 年度に試験的に柵内に作った池にルリボシヤンマ等のこれまで昆虫館周辺で見られなかった昆虫が飛来したこと、池の面積を約 4 倍に拡張すると共に水路を接続することで夏場でも水が枯れにくく、水辺を利用する昆虫の生息に適した構造になるよう改良した。

入口の整地は、降雨後にぬかるみやすかった柵の入り口付近の表土を取り除き、真砂土等を敷き詰めて整地することで、来館者が柵内に入りやすいように改良した。

概ね 5 日間で、基本的な作業を完了した。今後も、植物の生育状況をモニタリングしながら、随時改善を行なっていく。



上：シカ柵の設置位置

右：植栽図



左：2025 年 2 月 14 日（池の拡張作業）、右：2 月 15 日（入口の整地作業）

主な整備作業はつぎのとおり。

2024 年 5 月 26 日（日）植栽作業 参加者：2 名

2024 年 11 月 16 日（土）植栽作業、草刈り等 参加者：4 名

2025 年 2 月 14 日（金）、15 日（土）池の拡張と入口の整地 参加者：延べ 7 名

2025 年 3 月 15 日（土）入口の整地 参加者：7 名

2025 年 3 月 23 日（日）植栽作業 参加者：6 名

このほか、草刈り作業は随時行われた。

また、呼称が決定し環境改善が進んだことから、案内図を作成し、昆虫館での配布を開始した。



昆虫館での配布を開始した虫とりマップ（A5 判モノクロ印刷）

D 管理運営

会員の状況（2025年4月30日現在）

正会員 44 名（2024 年度会費納入者数）、むしむしサポーター44 名、きべりはむし会員 23 名、メール会員 688 名。

総会・理事会

総会

通常総会：2024 年（令和 6 年）6 月 2 日（日）、さよう文化情報センター（兵庫県佐用郡佐用町佐用）で開催した。

理事会

第 1 回理事会を 2024 年（令和 6 年）5 月 19 日（土）電子メールによる持ち回り開催した。総会議案について審議した。

その他、2024 年 11 月 23 日（土）に佐用町昆虫館でスタッフミーティングを行い、事業のアイデア出しなどを行った。それらを受けて 12 月 22 日（日）にオンラインで役員ミーティングを行い、予算の執行状況や次年度事業計画に関する意見交換を行った。